

富山大学  
人間発達科学研究実践総合センター紀要

# 教育実践研究

第12号

平成29年12月

## 目次

報告	体罰研究の近年の動向と今後の課題	近藤 龍彰	1
論文	仮説吟味学習による社会科授業づくりの方法 —アクティブ・ラーニングの視点に立った授業改善—	岡崎 誠司	7
	小中学生におけるキャリア意識形成のプロセスの質的検討 —学校内で行われている進路指導の取り組みから—	澤柿 温美・石津憲一郎	15
	高校生の学校適応を支える要因の検討(1) —全日制高校と定時制高校の比較から—	堀田あけみ・石津憲一郎	27
	カウンセリング指導員の成立とその職務(1) —富山県における教育相談専任教員の発展—	池田 宗介・石津憲一郎	41
	教育相談体制の充実についての検討 —カウンセリング指導員の役割に注目して—	豊岡 崇志・石津憲一郎	53
	中学生における部活動の取り組み, インターネット依存と学校適応 —生活習慣の視点を含めた交差遅れ効果モデル分析—	上沼あずさ・石津憲一郎	69
	主体的価値観形成を目指す「ESD型社会科」の単元開発 —環境経済学の成果を生かした小学校地域学習の授業改善—	永田 暢之・岡崎 誠司	77
	グローバル・シティズンシップを育成する小学校社会科・産業学習の授業開発 —第5学年・農業単元「富山で行われている新しい農業」の場合—	奥田 貴一・岡崎 誠司	91
	校内研修活性化に関する一考察 —学校支援プロジェクトの協同を受けて—	石崎 良・竹村 哲	105
報告	知的障害特別支援学校における「遊びの指導」に関する実践的研究 —ムーブメント教育・療法の視点を取り入れて—	稲垣 恭子・近江ひと美・越村早貴子・野崎 美保・栗林 睦美・和田 充紀	117
論文	小学校外国語活動におけるタイムリーな題材の選択と自己決定の場の工夫 —発話への意欲が高まる授業を目指して—	横山 恵・岡崎 浩幸	129
	「生活圏における防災」について考察する教材の開発研究 —社会科・地歴科教育法での授業実践から—	笹田 茂樹・諏訪 清二	139
	世界史教育の方向性と大学教育:「歴史総合」の新設を展望して	徳橋 曜	149
報告	発達に気がかりがある子どもが楽しく運動を継続するためのコラボレーション型支援体制の試み	澤 聡美・水野カオル・松澤あかり	161
論文	保育内容(人間関係)の観点から見た劇遊びの意義 —富山大学人間発達科学部附属幼稚園におけるこどもまつりの教育的効果の検討—	小林 真・岩田 夏実・岩田 育代・米崎 瑛美	171

## 富山大学人間発達科学部附属人間発達科学研究実践総合センター紀要投稿要項

平成 20 年 7 月 16 日制定

平成 28 年 4 月 1 日改正

### 1 紀要編集

センター紀要編集委員会（「以下「委員会」という。」）では、人間発達科学部附属人間発達科学研究実践総合センター（以下「センター」という。」）の紀要として、毎年度に1号の原稿を募集し、編集を行なう。

### 2 著者の資格

- (1) 人間発達科学部（以下「学部」という。）の専任教員
- (2) 大学院教職実践開発研究科（以下「研究科」という。）の専任教員
- (3) 学部附属学校園の専任教員
- (4) 編集委員会が認めた者、学部及び研究科の専任教員との連名で投稿する者

### 3 原稿の内容

- (1) 投稿原稿は、未発表のものとする。
- (2) 教育実践にかかわる理論的実践的研究に関する論文、報告、資料、その他とする。
  - ①論文とは、新たな発見また見解を示した研究成果を論述したものをいう。
  - ②報告とは、授業実践報告などをいう。
  - ③資料とは、研究レビューや紹介、総説などをいう。
  - ④その他とは、上記①から③以外のものをいい、著者が投稿の際にその名称を申告する。
- (3) 著者は、原稿の種類（論文、報告、資料、その他）を申告する。
- (4) 著者は、原稿枚数が別に定める基準を超える場合には、原則として経費を負担するものとする。

### 4 投稿と受領

- (1) 原稿の締め切り日は、8月31日とする。但し、その日が土曜日の場合は、翌々日、日曜日の場合は、翌日とする。
- (2) 投稿カードに所定の事項を記入のうえ、原稿2部と原稿を記録した電子メディアをセンター事務室に提出する。

上記の2の(3)による者は、その所属研究機関あるいは勤務先を記入する。

### 5 原稿の受付

- (1) 本委員会では、投稿された原稿について、本要項と執筆要項に照らしてその要件を満たしているならば、受け付ける。

### 6 修正と受理

- (1) 本委員会では、受け付けた原稿について査読する。

- (2) 本委員会では、原稿について、本委員会外にも意見を求めることができる。
- (3) 本委員会は、原稿の訂正を著者に求めることができる。
- (4) 原稿の採否は、本委員会が決定する。
- (5) 本委員会で採用を決定した年月日をもって、受理年月日とする。

## 7 校正

- (1) 校正は、著者の責任において所定の期間までに、初校及び再校を行なう。
- (2) 校正時における原稿の修正は認めない。
- (3) 三校以降は、委員会の責任で行なう。

## 8 二次利用

掲載された原稿の二次利用は、本委員会に委ねるものとする。

# 富山大学附属人間発達科学研究実践総合センター紀要執筆要項

平成 20 年 7 月 16 日制定

## 1 原稿の形式

- (1) 1 篇として成立し、分割されていないものとする。
- (2) 言語は原則として日本語、英語とし、その他紀要編集委員会で認めるものとする。
- (3) 母国語以外を用いるときは、校閲を受けることが望ましく、著者より依頼する。
- (4) 現行の表記法を用いる。
- (5) 単位、及び単位記号は、原則として M.K.S 単位系を用いる。

## 2 原稿の書式と体裁

- (1) 1 篇につき、図・表・写真等を含め、刷り上り 14 頁以内とする。やむを得ず制限を超える場合は著者の負担で掲載を認める。
- (2) 原稿の体裁は、書式見本（別紙）を基本とする。
- (3) 上記が困難な場合は、A4 判用紙に 32 字×25 行で印字する。図表がある場合は、そのまま印刷可能なものを添付すること。
- (4) 投稿論文数は、筆頭者 1 人につき、各号 1 篇とする。筆頭者による 2 篇以上の投稿については、編集委員会が審議して掲載の可否を決め、第 2 篇からは著者の負担で掲載を認める。

富山大学人間発達科学研究実践総合センター紀要  
教育実践研究 編集委員会

委員長 千 田 恭 子  
委 員 石 津 憲一郎  
小 川 亮  
上 山 輝  
岸 本 忠 之  
近 藤 龍 彰  
佐 藤 徳  
高 橋 満 彦  
徳 橋 曜  
長谷川 春 生

---

富山大学人間発達科学部附属人間発達科学研究実践総合センター紀要  
教育実践研究 第12号

平成29年12月20日 発行

編集兼 富山大学人間発達科学部  
発行者 附属人間発達科学研究実践総合センター  
〒930-8555 富山市五福3 1 9 0  
TEL (076) 445-6380  
印刷所 株式会社なかたに印刷  
〒939-2741 富山市婦中町中名1554-23  
TEL (076) 465-2341

---

# “*KYOIKU JISSEN KENKYU*”

## *BULLETIN OF THE CENTER OF EDUCATIONAL RESEARCH AND PRACTICE UNIVERSITY OF TOYAMA*

No. 12

December. 2017

**CONTENTS****Report**

- The Review of Recent Study about Physical Punishment  
..... Tatsuaki KONDO ..... 1

**Original Article**

- The Method of a Social Studies Lesson by the Hypothesis Examination;  
The Lesson Improvement by the Active Learning  
..... Seiji OKAZAKI ..... 7
- Qualitative Study on the Process to Build Career Awareness among Primary and Junior High School Students.  
—Based on the Practical Attempts for Career Guidance in Schools—  
..... Atsumi SAWAGAKI, Kenichiro ISHIZU ..... 15
- A Study of Factors Supporting School Adjustment among high school students(1):  
Compared Full-time High School Students to Part-time High School Students---  
..... Akemi HORITA, Kenichiro ISHIZU ..... 27
- Dedicated School Counseling Teacher in Junior High School (1)  
—How did dedicated counseling teacher develop in Toyama prefecture—  
..... Noriyoshi IKEDA, Kenichiro ISHIZU ..... 41
- Consideration about enhancement of educational consultation system  
—Focusing on the role of counseling instructor—  
..... Takashi TOYOOKA, Kenichiro ISHIZU ..... 53
- The Relations between School Adjustment, Internet Addiction and Club Activity among Junior High School Students.  
—Including the Viewpoint of Life Style Habits—  
..... Azusa KAMINUMA, Kenichiro ISHIZU ..... 69
- Developing the Materials for Social Studies of ESD in Having the Independent Ideas  
—Developing the Teaching Skill of Area Studies in Elementary School Stage in Using the Effect of Environmental Economics—  
..... Nobuyuki NAGATA, Seiji OKAZAKI ..... 77
- Development of the Lesson for the Social Studies and Industrial Learning at Elementary School Global Citizenship  
—The Agricultural Unit “New farming being done in Toyama” for 5th Graders—  
..... Kiichi OKUDA, Seiji OKAZAKI ..... 91
- A Study on the Activation of Intramural Training  
—Receiving Cooperation in a School Support Project—  
..... Ryo ISHIZAKI, Akira TAKEMURA ..... 105

**Report**

- Practicing Study on “Lesson of Play” for Children with Intellectual Disabilities at the Special School:  
Utilize Movement Education and Therapy  
..... Kyouko INAGAKI, Hitomi OUMI, Sakiko KOSHIMURA,  
Miho NOZAKI, Mutumi KURIBAYASHI, Miki WADA ..... 117

**Original Article**

- Timely Theme Selection and Self-determination In Elementary School Foreign Language Activities  
—Lessons for Increasing Willingness to Speak—  
..... Megumi Yokoyama, Hiroyuki Okazaki .....129
- Research on Development of Learning Materials for Disaster Prevention on Living Sphere  
—On a Practical Classroom Study of Methodology of Teaching Social Studies and Geography and History  
in University of Toyama—  
..... Shigeki SASADA, Seiji SUWA .....139
- The Future Direction of Education of the World History and the University Education:  
Viewing the Establishment of “General History (Rekishi-Sohgoh)”  
..... Yo TOKUHASHI ..... 149

**Report**

- Development of a Collaboration-based Support System for Children  
with Developmental Difficulties to Enjoy Performing Exercise  
..... Satomi SAWA, Kaoru MIZUNO, Akari MATSUZAWA .....161

**Original Article**

- The Importance of Dramatic Play in Content of Early Childhood Education(Human-Relationship) :  
Educational Effects of Kodomo-Matsuri in attached Kindergarten of Faculty of Humandevlopment, University of Toyama  
..... Makoto KOBASYASHI, Natsumi IWATA, Ikuyo IWATA, and Emi YONEZAKI .....171